



2010年3月期 第2四半期決算説明会

2009年11月11日

2009年11月現在

当資料で取扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については、億円単位の数値で算出しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

■目次

1. 2010年3月期 第2四半期決算

(1)連結業績

(2)株主の状況

(3)グループ会社の状況

2. 2010年3月期 通期連結業績予想

3. 2010年3月期 配当予想

4. 新中期経営計画 重点分野の取り組み

※インフォコムグループ中期経営計画(2009年5月11日公表)

※インフォコムグループ基礎情報

■インフォコムの概要

■企業理念、経営方針 等

■社名の由来、沿革

■セグメント構成

■事業推進体制、所在地

■グループ構成

■当社グループの通期及び四半期業績の特性

■連結財務データ(通期)

■主要経営指標(通期)

■对外発表Index(2009年4月～2009年9月)

2009年11月現在

当資料で取扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については、億円単位の数値で算出しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

1. 2010年3月期 第2四半期決算

(1) 連結業績

(2) 株主の状況

(3) グループ会社の状況

2. 2010年3月期 通期連結業績予想

3. 2010年3月期 配当予想

4. 新中期経営計画 重点分野の取り組み

※インフォコムグループ中期経営計画(2009年5月11日公表)

※インフォコムグループ基礎情報

- | | | |
|----------------------|--------------|-----------------------------|
| ■インフォコムの概要 | ■企業理念、経営方針 等 | ■社名の由来、沿革 |
| ■セグメント構成 | ■事業推進体制、所在地 | ■グループ構成 |
| ■当社グループの通期及び四半期業績の特性 | | |
| ■連結財務データ(通期) | ■主要経営指標(通期) | ■对外発表Index(2009年4月～2009年9月) |

2009年11月現在

当資料で取扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については、億円単位の数値で算出しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

1. 2010年3月期 第2四半期決算 (1) 連結業績 短期計画方針と実施施策

2010年3月期 短期計画方針	第2四半期までの主要施策
<p>◆新中期経営計画の着実な推進</p> <p>1. 今般の経済環境を踏まえた収益力の向上</p> <p>コスト抑制の徹底 利益率の一層の向上に向けた構造改革施策の着実な実行 設備・研究開発投資の重点化等、キャッシュフロー重視経営の推進</p> <p>2. 業容拡大に向けた中期重点分野への経営資源シフト</p> <p>ネットビジネス領域での新事業を含めた成長加速 ヘルスケア領域での新事業を含めた成長加速 GRANDIT事業の推進 SaaS型事業の展開加速</p> <p>3. 事業基盤の継続的強化</p> <p>グループ人材の流動化と育成強化 継続的品質向上に向けた管理体制強化及び管理技術の展開推進 グループ全体の潜在リスク極小化</p>	<p>1. 今般の経済環境を踏まえた収益力の向上</p> <p>グループ全体でのコスト抑制活動の推進 プロジェクト管理機能の強化による採算性の向上 経営効率の向上に向けた投資の重点化を継続中</p> <p>2. 業容拡大に向けた中期重点分野への経営資源シフト</p> <p>効率的な事業運営と新コンテンツ配信の開始 自社開発パッケージ拡充 販売体制拡充、新バージョン販売開始 SaaS基盤の継続的整備と新サービスの開始</p> <p>3. 事業基盤の継続的強化</p> <p>品質の継続的向上等を目的とした体制の強化 データセンターの競争力強化に向けた設備近代化 リスク管理の徹底</p>
<p>◆景気低迷による顧客企業のIT投資削減対策</p> <p>1. 調達機能強化による外注要員数の最適化</p> <p>2. プロジェクト管理、営業・マーケティング機能の強化</p> <p>3. ソリューション事業統轄本部を強化し、企画提案機能を強化</p>	<p>協力企業との協業体制の最適化推進中</p> <p>新事業企画機能の強化に向けた体制の増強</p>

2009年11月現在

当資料で取扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については、億円単位の数値で算出しています。

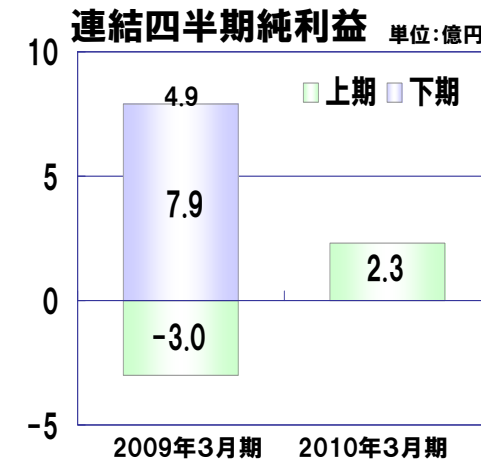
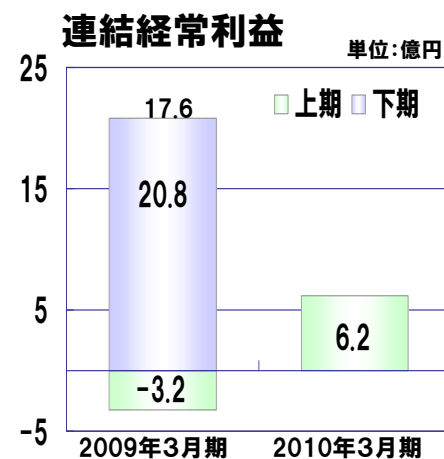
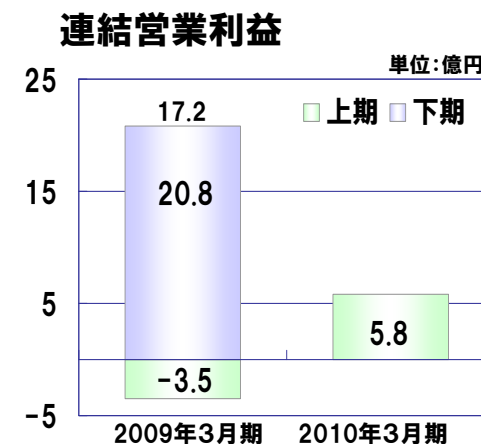
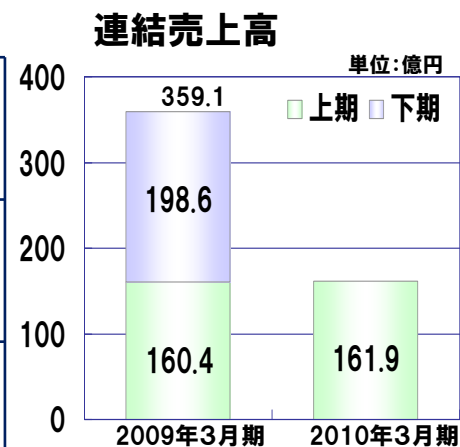
本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

1. 2010年3月期 第2四半期決算 (1) 連結業績 業績概要

前期との対比による連結業績の概要

億円単位	09/3期 第2四半期 (前期)	10/3期 第2四半期 (当期)	増減	
			額	率
売上高	160.4	161.9	+1.5	+0.9%
営業利益	△3.5	5.8	+9.3	-
経常利益	△3.2	6.2	+9.4	-
四半期純利益	△3.0	2.3	+5.3	-



2009年11月現在

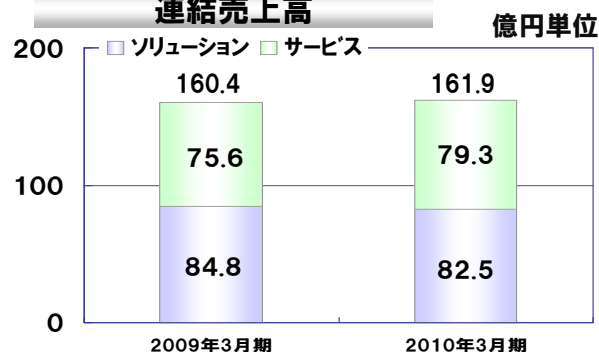
当資料で取扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については、億円単位の数値で算出しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

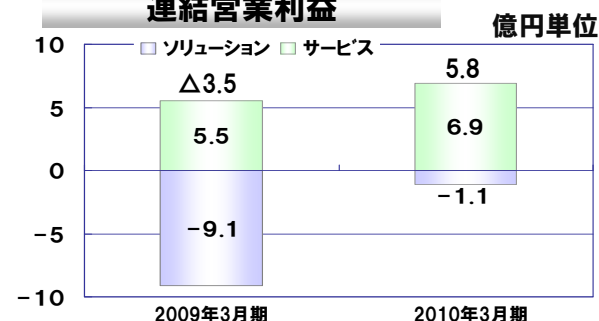
© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

1. 2010年3月期 第2四半期決算 (1) 連結業績 セグメント別売上高・営業利益、四半期純利益

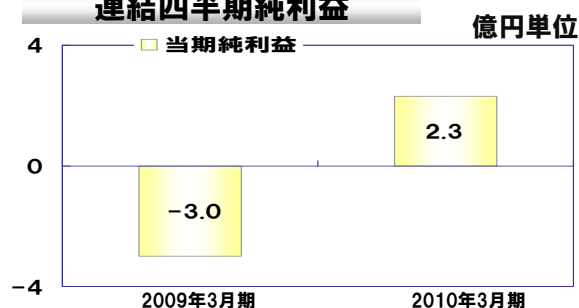
連結売上高



連結営業利益



連結四半期純利益



前年同期対比 主たる増減要因

■ソリューション事業は、厳しい受注環境下、前年同期並みの売上を確保	
-2	・一般企業顧客のIT投資時期の見直し等の影響
■ネットビジネス事業の拡大	
+4	・コンテンツ配信事業が堅調に推移

前年同期対比 主たる増減要因

■ソリューション事業の収益力の大幅改善	
+8	・プロジェクト管理機能(採算管理、進捗管理、品質管理)強化への継続的取り組みによる改善効果の発現
	・グループを挙げたコスト抑制への取り組み
■ネットビジネス事業の収益力向上	
+1	・コンテンツ配信事業の堅調な推移

前年同期対比 主たる増減要因

・連結営業利益の改善等	
-------------	--

2009年11月現在

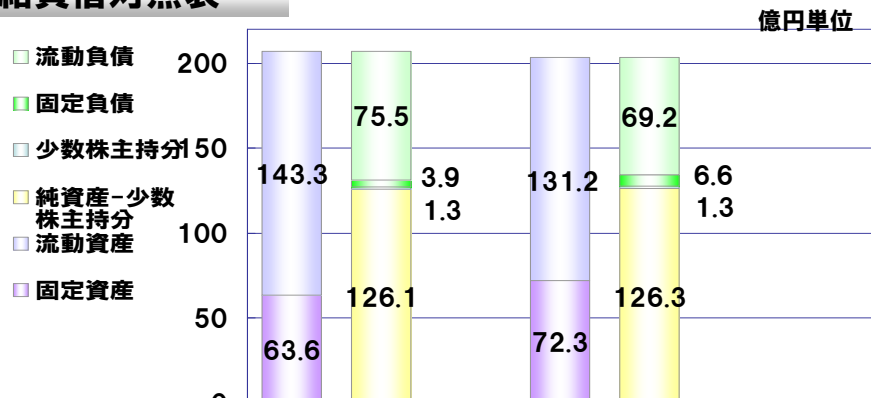
当資料で取扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については、億円単位の数値で算出しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

1. 2010年3月期 第2四半期決算 (1) 連結業績 貸借対照表

連結貸借対照表



億円単位	2009年3月末	2009年9月末	増減
流動資産	143.3	131.2	△12.1
固定資産	63.5	72.3	+8.8
資産計	206.9	203.6	△3.3
流動負債	75.5	69.2	△6.3
固定負債	3.8	6.6	+2.8
負債計	79.3	75.9	△3.4
少数株主持分	1.3	1.3	0.0
純資産-少数株主持分	126.1	126.3	+0.2
自己資本比率	61.0%	62.0%	+1.0%

前期末対比 主たる増減要因	単位: 億円
■ 流動資産(△12.1)	
・ 売掛債権の減少等	△22.0
・ 現金及び預金等の増加	+9.9
■ 固定資産(+8.8)	
・ データセンター新事務棟建設等	+8.7
■ 流動負債(△6.3)	
・ 仕入債務の減少	△10.4
・ 未払金の増加	+5.8
■ 固定負債(+2.8)	
・ 長期リース未払金の増加	+2.7

2009年11月現在

当資料で取扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については、億円単位の数値で算出しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

1. 2010年3月期 第2四半期決算 (1) 連結業績 キャッシュ・フロー

連結キャッシュ・フロー

億円単位

	09/3期 第2四半期	10/3期 第2四半期	増減
営業キャッシュ・フロー	4.7	18.5	+13.8
投資キャッシュ・フロー	△9.9	△5.9	+4.0
フリーキャッシュ・フロー	△5.2	12.5	+17.7
財務キャッシュ・フロー	△4.2	△2.6	+1.6
現金及び現金同等物 に係わる換算差額等	△0.1	0.1	+0.2
現金及び現金同等物 の増減額	△9.5	9.9	+19.4
現金及び現金同等物 の期首残高	32.5	36.4	+3.9
現金及び現金同等物 の期末残高	22.9	46.4	+23.5

連結フリーキャッシュ・フロー

億円単位



連結キャッシュ・フローの主な構成要因

単位: 億円

■ 営業キャッシュ・フロー(18.5)

・税金等調整前四半期純利益	4.9
・減価償却費	5.8
・売上債権の減少	25.6
・仕入債務の減少	△10.4
・たな卸資産の増加	△2.8
・法人税等の支払い	△3.3

■ 投資キャッシュ・フロー(△5.9)

・データセンター新事務棟建設等	△4.3
-----------------	------

■ 財務キャッシュ・フロー(△2.6)

・配当金支払い	△2.3
---------	------

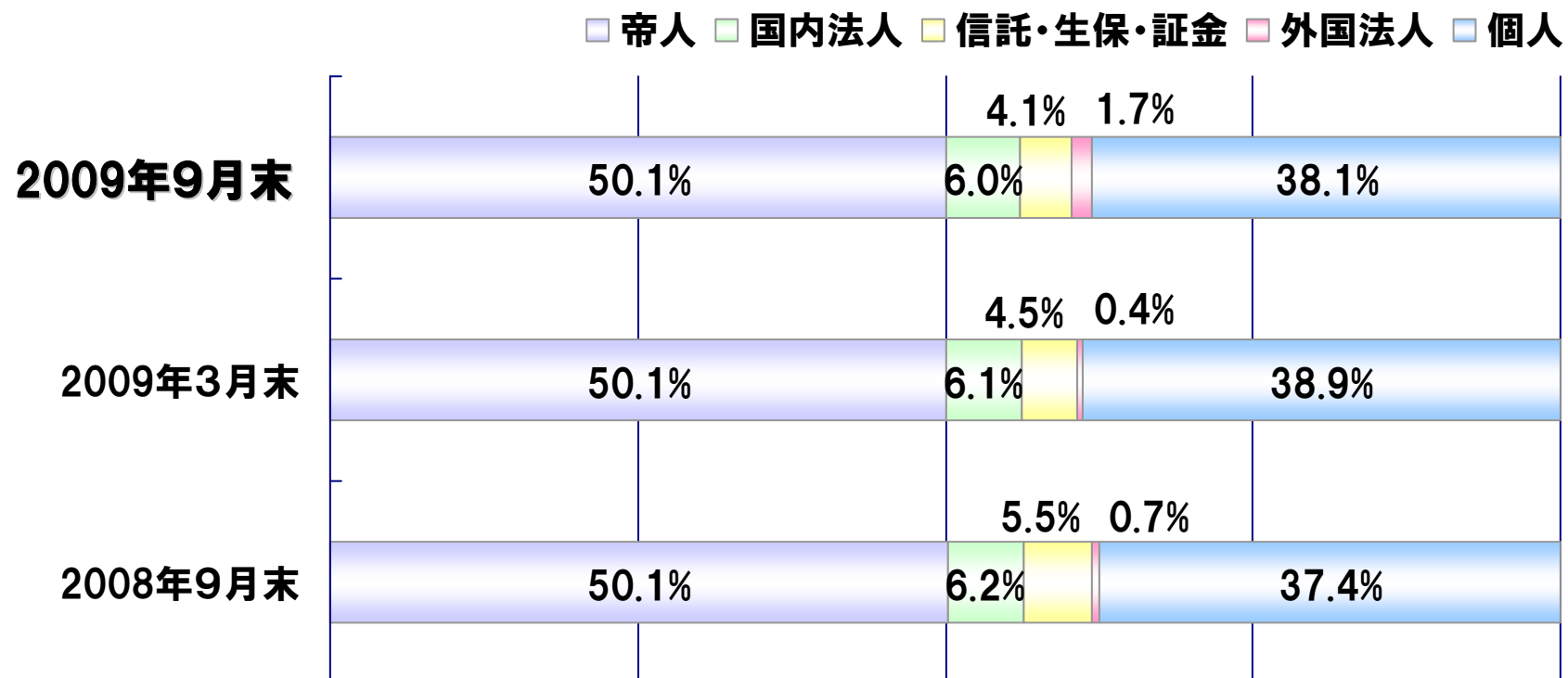
2009年11月現在

当資料で取扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については、億円単位の数値で算出しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

1. 2010年3月期 第2四半期決算 (2)株主の状況



2009年11月現在

当資料で取扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については、億円単位の数値で算出しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

1. 2010年3月期 第2四半期決算 (3)グループ会社の状況

2009年3月末現在

国内6社、海外2社、持分1社
計9社

ソリューション	連結	(株)インフォコム東日本
	連結	(株)インフォコム西日本
	連結	インフォベック(株)
	連結	ログイット(株)
	連結	ホワイトパジャマ・ジャパン(株)

2009年9月末現在

国内5社、海外2社、持分1社
計8社

ソリューション	連結	(株)インフォコム東日本
	連結	(株)インフォコム西日本
	連結	インフォベック(株)
	連結	ログイット(株)
	連結	ログイット(株)

サービス	連結	SYSCOM (USA) Inc.
	連結	(株)イー・ビー・エス
	持分	(株)ドゥマン

サービス	連結	SYSCOM (USA) Inc.
	連結	(株)イー・ビー・エス
	持分	(株)ドゥマン

ツスタ	連結	Infocom America Inc.
-----	----	----------------------

ツスタ	連結	Infocom America Inc.
-----	----	----------------------

2009年11月現在

当資料で取扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については、億円単位の数値で算出しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

1. 2010年3月期 第2四半期決算

(1) 連結業績

(2) 株主の状況

(3) グループ会社の状況

2. 2010年3月期 通期連結業績予想

3. 2010年3月期 配当予想

4. 新中期経営計画 重点分野の取り組み

※インフォコムグループ中期経営計画(2009年5月11日公表)

※インフォコムグループ基礎情報

■インフォコムの概要

■企業理念、経営方針 等

■社名の由来、沿革

■セグメント構成

■事業推進体制、所在地

■グループ構成

■当社グループの通期及び四半期業績の特性

■連結財務データ(通期)

■主要経営指標(通期)

■对外発表Index(2009年4月～2009年9月)

2009年11月現在

当資料で取扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については、億円単位の数値で算出しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

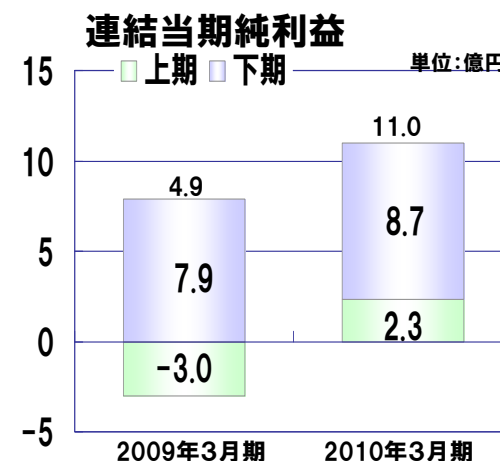
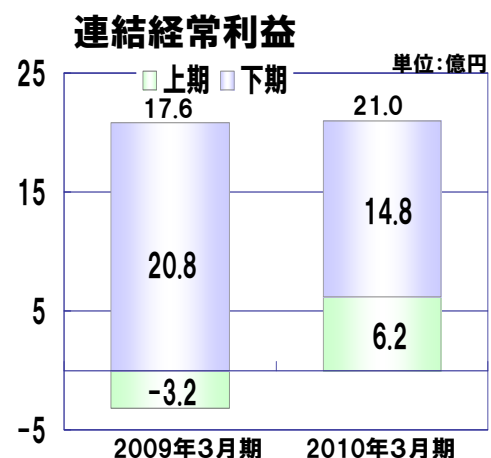
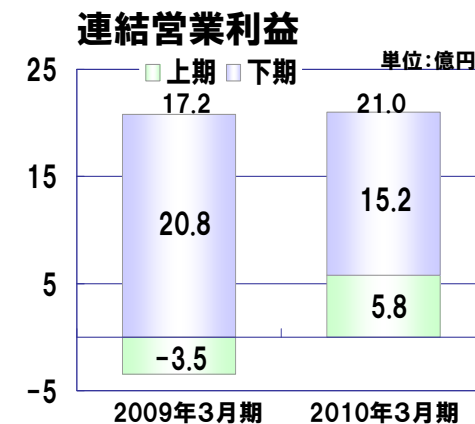
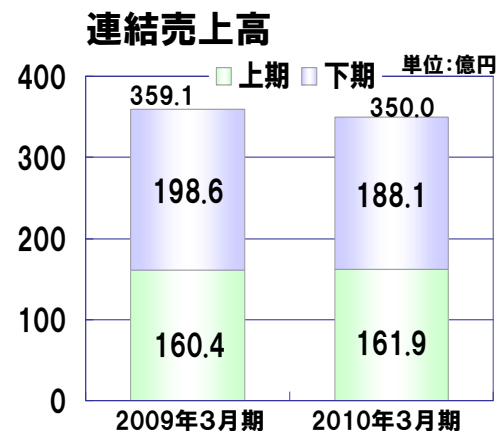
© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

2. 2010年3月期 通期連結業績予想

通期連結業績予想

	09/3期	10/3期 (予想)	増減 金額
売上高	359.1	350.0	△9.1
営業利益	17.2	21.0	+3.8
経常利益	17.6	21.0	+3.4
当期純利益	4.9	11.0	+6.1

売上高成長率 (対前期比)	+14.1%	△2.5%
営業利益率	4.8%	6.0%
ROE	4.0%	8.4%



2009年11月現在

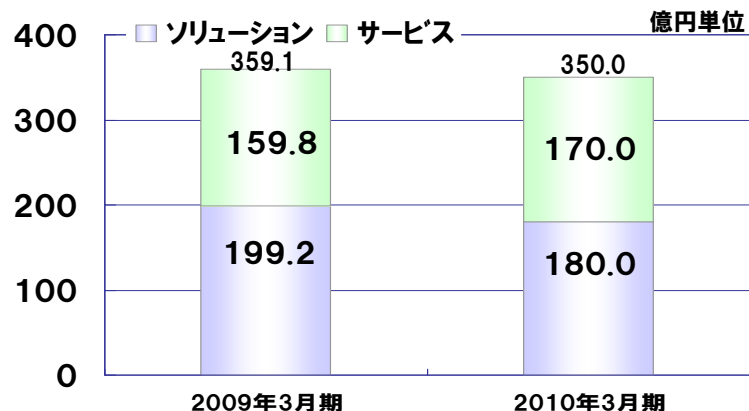
当資料で取扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については、億円単位の数値で算出しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

2. 2010年3月期 通期連結業績予想

連結売上高



【第2四半期まで】

◆業績は堅調に推移

- ✓ プロジェクト管理強化による改善効果の発現
- ✓ 下期予定一部案件の前倒し検収の進展等
- ✓ 電子書籍配信サービスの堅調な推移

【下期】

◆景気の先行きは未だ不透明

顧客企業のIT投資抑制等、厳しい事業環境は今後も継続

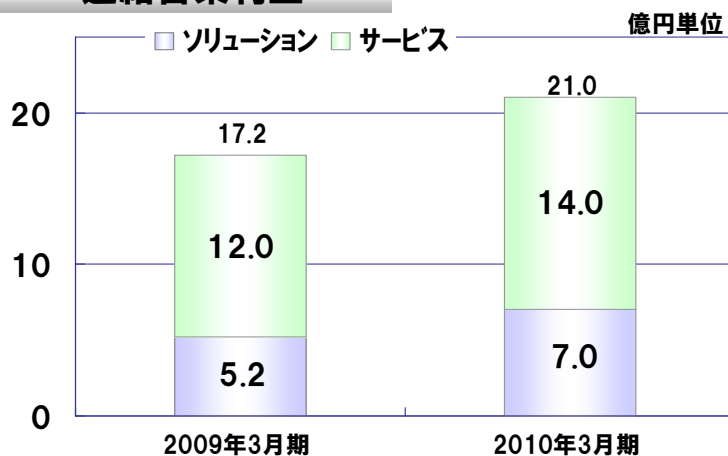
◆2010年3月期の短期計画方針を着実に遂行

●新中期経営計画の着実な推進

- ✓ 今般の経済環境を踏まえた収益力の向上
- ✓ 業容拡大に向けた中期重点分野への経営資源シフト
- ✓ 事業基盤の継続的強化

●景気低迷による顧客企業のIT投資削減対策

連結営業利益



2009年11月現在

当資料で取扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については、億円単位の数値で算出しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

1. 2010年3月期 第2四半期決算

(1) 連結業績

(2) 株主の状況

(3) グループ会社の状況

2. 2010年3月期 通期連結業績予想

3. 2010年3月期 配当予想

4. 新中期経営計画 重点分野の取り組み

※インフォコムグループ中期経営計画(2009年5月11日公表)

※インフォコムグループ基礎情報

- | | | |
|----------------------|--------------|-----------------------------|
| ■インフォコムの概要 | ■企業理念、経営方針 等 | ■社名の由来、沿革 |
| ■セグメント構成 | ■事業推進体制、所在地 | ■グループ構成 |
| ■当社グループの通期及び四半期業績の特性 | | |
| ■連結財務データ(通期) | ■主要経営指標(通期) | ■对外発表Index(2009年4月～2009年9月) |

2009年11月現在

当資料で取扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については、億円単位の数値で算出しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

3. 2010年3月期 配当予想

配当予想

	従来予想	今回予想	差
1株当たり配当金(円)	1,600	2,000	+400
連結配当性向(%)	32.9	26.2	-

第28回定時株主総会(平成22年6月下旬招集予定)に付議予定

2009年11月現在

当資料で取扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については、億円単位の数値で算出しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

1. 2010年3月期 第2四半期決算

(1) 連結業績

(2) 株主の状況

(3) グループ会社の状況

2. 2010年3月期 通期連結業績予想

3. 2010年3月期 配当予想

4. 新中期経営計画 重点分野の取り組み

※インフォコムグループ中期経営計画(2009年5月11日公表)

※インフォコムグループ基礎情報

- | | | |
|----------------------|--------------|-----------------------------|
| ■インフォコムの概要 | ■企業理念、経営方針 等 | ■社名の由来、沿革 |
| ■セグメント構成 | ■事業推進体制、所在地 | ■グループ構成 |
| ■当社グループの通期及び四半期業績の特性 | | |
| ■連結財務データ(通期) | ■主要経営指標(通期) | ■对外発表Index(2009年4月～2009年9月) |

2009年11月現在

当資料で取扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については、億円単位の数値で算出しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

4. 新中期経営計画 重点分野の取り組み

☆基盤強化 GRANDIT分野

※継続的製品強化により、品質向上と競争力強化を推進

- ①日本の各業界商慣習に適合する完全Web-ERP「GRANDIT®」
- ②コンソーシアム方式による業界代表SI企業各社のノウハウ集大成
- ③内部統制、工事進行基準、労基法等に対応する機能充実

- 1)体制の充実 ⇒コンソメンバー/パートナー拡充
- 2)機能の拡充 ⇒新バージョン(V1.6)
- 3)導入検討支援ツール整備
⇒導入事例集「GRANDIT-Symphony」を活用
効果の見える化、導入期間短縮を促進



☆成長加速 ヘルスケア分野

※製品強化と病院経営支援等の新分野への積極展開

- ①病院向けに医療情報の高度活用を支援するソリューション展開
- ②放射線医療/診療/医薬品/経営情報等充実のラインアップ
- ③全国展開体制

- 1)取扱製品強化 ⇒放射線医療系新バージョン
- 2)新事業企画 ⇒新事業探索積極推進



☆新ビジネスモデル データセンター分野

※SaaS型事業立上げ

- ①最高水準の安全と信頼性を提供する自社データセンター施設
- ②データセンターフルアウトソーシングサービス「エクステーション®」
- ③東京から25km、バックアップ/ディザスタリカバリセンターにも最適

- 1)基盤整備完了 ⇒ SaaS型ビジネスの次世代基盤整備
- 2)新サービス開始 ⇒ 仮想化ホスティングサービス(グリーンIT化支援)
- 3)SaaS型サービス一例 ⇒ 「GRANDIT®」「エマージェンシーコール®」

新事業

☆成長加速 ネットビジネス分野

※コンテンツ、eコマースの成長加速と

新事業の立ち上げ

- ①インターネットを活用したコンテンツ配信やeコマースサービス展開
- ②コンテンツ配信:着メロ、着うたフル®、コミックス、健康情報 等
- ③eコマース:CD/DVD、渋谷系女性向けアパレル、食品関連 等

- 1)新サービス開始 ⇒ パズルゲーム「めちゃキューブ™」
メール装飾素材「めちゃデコ™」
- 2)コンテンツ拡充 ⇒ 全サービスで取扱コンテンツ拡充
- 3)新事業企画一例 ⇒ 表参道/銀座Online(試行中)

業績予想等に関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

※本資料に記載されている業績予想及び配当予想は、平成21年10月29日に公表した弊社の「平成22年3月期 第2四半期決算短信」、及び「平成22年3月期 配当予想の修正に関するお知らせ」に基づくものです。

2009年11月現在

当資料で取扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については、億円単位の数値で算出しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

1. 2010年3月期 第2四半期決算

(1) 連結業績

(2) 株主の状況

(3) グループ会社の状況

2. 2010年3月期 通期連結業績予想

3. 2010年3月期 配当予想

4. 新中期経営計画 重点分野の取り組み

※インフォコムグループ中期経営計画(2009年5月11日公表)

※インフォコムグループ基礎情報

■インフォコムの概要

■企業理念、経営方針 等

■社名の由来、沿革

■セグメント構成

■事業推進体制、所在地

■グループ構成

■当社グループの通期及び四半期業績の特性

■連結財務データ(通期)

■主要経営指標(通期)

■对外発表Index(2009年4月～2009年9月)

2009年11月現在

当資料で取扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については、億円単位の数値で算出しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

中期経営計画 インフォコムグループの事業概要

ソリューション・セグメント

◆大規模顧客のシステム構築運用を受託

- ・帝人G、双日G、メディパルH
- ・携帯キャリア

大口顧客

製品・分野特化

◆ニッチトップを目指した製商品を中心としたソリューションの提供

- ・文書管理
- ・特許管理
- ・医療機関、製薬企業向け
- ・緊急通報、コールセンター向け
- ・GRANDIT

◆ネットワークの構築・運用、及び、新横浜センターでのサーバー運用

- ・大口顧客
- ・パートナー

データセンター

ネットビジネス

◆インターネット、携帯電話を通じたサービスを消費者へ提供

- ・Eコマース
CD/DVD、本、ゲーム、アパレル
- ・コンテンツ提供
音楽、着メロ、電子書籍、パズル
ゲーム、メール装飾素材

サービス・セグメント

帝人G向け
売上は約2割程度

2009年11月現在

当資料で取扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については、億円単位の数値で算出しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

中期経営計画（1）前中期経営計画（06年3月期～08年3月期）及び09年3月期総括

前中期経営計画（06年3月期～08年3月期）

売上高、利益ともに大幅な未達

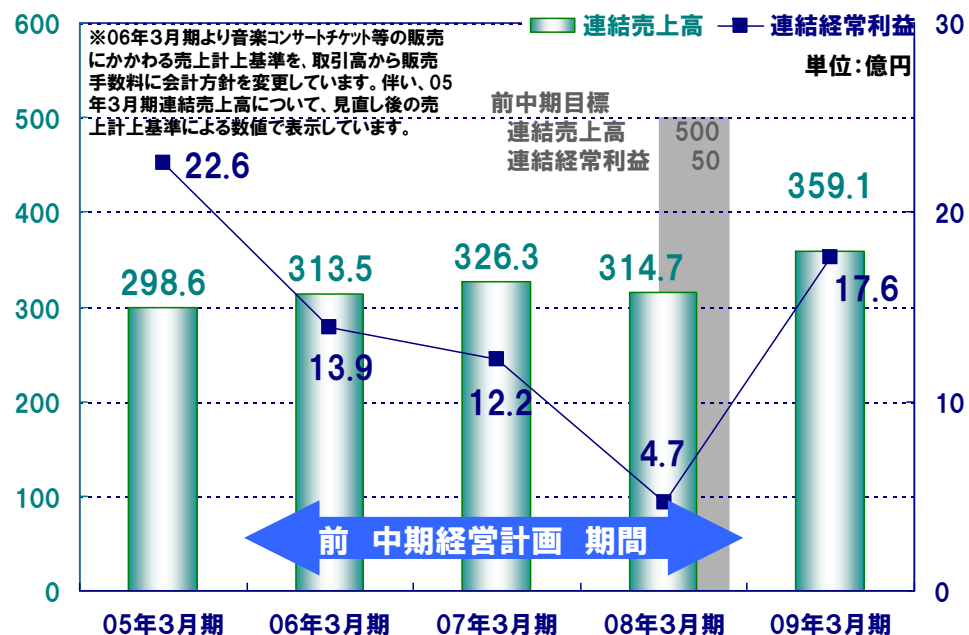
■2008年3月期（前中期計画→実績）

連結売上高： 500億円 → 314.7億円

連結経常利益： 50億円 → 4.7億円

■計画未達の主要因

- ・成長を牽引すると位置付けた事業計画の未達
- ・品質問題等の事業リスクの顕在化



2009年3月期

事業基盤の一層の強化と成長の実現に注力

■事業基盤の一層の強化

- (1) ソリューション事業の収益力強化
- (2) グループ経営の効率化

■成長の実現

- (1) ネットビジネス事業の拡大
- (2) 大口顧客案件、ヘルスケア案件の着実な獲得

※加えて、経済環境を踏まえたコスト削減を実施
この結果、02年3月期から下落していた収益のV字回復を実現。

新・中期経営計画（10年3月期～12年3月期）

「利益ある成長」の再スタート

2009年11月現在

当資料で取扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については、億円単位の数値で算出しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

中期経営計画（2）環境認識

■ 国内IT市場環境

- 2008年の金融危機に端を発した世界同時不況により、景気下降は継続
- 本中期計画中之での景気回復が予想されるが、時期、規模は依然として不透明
- SaaS型事業の基盤整備、市場認知・浸透は加速化

■ 市場環境認識

- 企業向け市場：
 - ・景気低迷によりIT投資削減、運用コスト見直しの傾向が継続
 - ・ガバナンス、コンプライアンス、情報漏洩対策等 リスクマネジメント領域への投資は堅調
- 医療・公共向け市場：
 - ・医療制度改革の進展や、政府主導でのIT戦略投資の期待もあり堅調
 - ・健康管理志向の広がり、医療機関における経営効率化志向の浸透
- 個人消費者向け市場：
 - ・景気低迷は個人消費にも影響するが、ネットビジネス全体としての市場は拡大

2009年11月現在

当資料で取扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については、億円単位の数値で算出しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

中期経営計画（2）環境認識

■ 国内IT市場予測に関連したトピックス

世界的経済危機を反映した国内製品別IT市場予測 09年4月IDC Japan

- ・2009年 国内IT市場は景気後退の影響を強く受け、前年比成長率マイナス3.8%と予測。
- ・サーバー、PCなどハードウェア市場の大幅なマイナス成長が主因。2009年 ハードウェア市場は、前年比成長率マイナス11.0%となる。
- ・これまで高い成長を遂げてきたソフトウェア市場も、ハードウェア市場の減速の影響で、2009年は前年比成長率マイナス0.5%と予測。

政府の戦略本部が3か年計画 3兆円規模で投資拡大 09年4月9日

- ・政府のIT戦略本部が景気刺激とデジタル化による生活の利便性向上を目指した「デジタル新時代に向けた新たな戦略 3か年緊急プラン」を決定した。
- ・電子政府や医療、教育分野を中心に官民が今後3年間で3兆円規模でIT関連投資を拡大し、50万人の雇用創出を目指す。
- ・具体的なデジタル推進策例
 - ・▽住民票の転入出届や年金記録確認などがインターネット上で可能な「国民電子私書箱」の開設
 - ・▽医師不足に対応したネットによる遠隔地診断
 - ・▽デジタル教科書などITを活用した最先端の教育モデル推進

2009年11月現在

当資料で取扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については、億円単位の数値で算出しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

中期経営計画 (3) 新中期経営計画 策定方針

- 中期経営計画期間中(2010年3月期~2012年3月期)に景気は回復基調に戻ると予測。但し、時期は不透明。
 - ⇒ 2011年度の数値目標を設定しその過程については各年度毎に設定する。
 - ⇒ 不況の中、収益力を確保しつつ成長に向けた基盤整備を進める期間と位置付ける。

- 不況下でも成長が狙える領域で成長を加速する。
 - ⇒ 成長を期待可能な領域に経営資源を集中する。

- 現在展開している事業の拡大を成長の基本と考える。
 - ⇒ M&A等の積極的検討は進めるが、計数計画には織り込まない。

2009年11月現在

当資料で取扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については、億円単位の数値で算出しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

中期経営計画（4）新中期経営計画 基本方針

1. 今般の経済環境を踏まえた収益力の向上

- － コスト抑制の徹底
- － 利益率の一層の向上に向けた構造改革施策の着実な実行
- － 設備・研究開発投資の重点化等、キャッシュフロー重視経営の推進

2. 業容拡大に向けた中期重点分野への経営資源シフト

- － ネットビジネス領域、ヘルスケア領域での新事業を含めた成長加速
- － GRANDIT事業の推進
- － SaaS型事業の展開加速

3. 事業基盤の継続的強化

- － グループ人材の流動化と育成強化
- － 継続的品質向上に向けた管理体制強化及び管理技術の展開推進
- － グループ全体の潜在リスク極小化

2009年11月現在

当資料で取扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については、億円単位の数値で算出しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

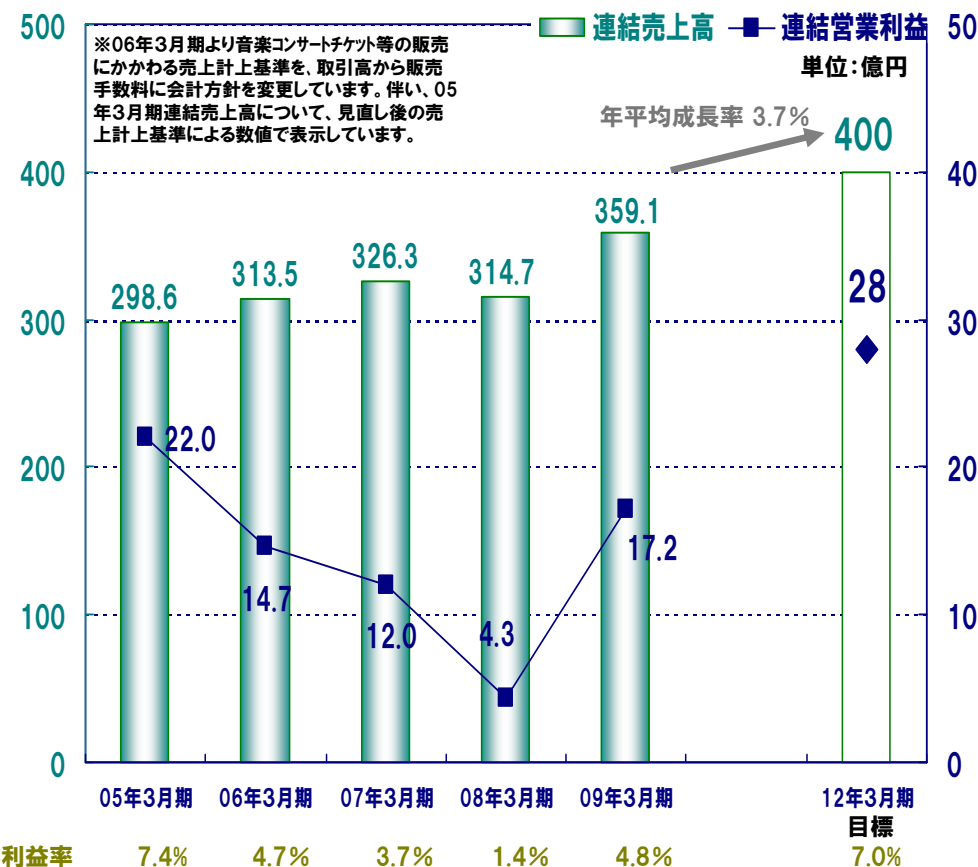
© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

中期経営計画 (5)新中期経営計画 2012年3月期 目標 (連結ベース)

「利益ある成長」を持続し、次の成長に向けた基盤整備

単位:億円

	2009年3月期	2012年3月期 (目標値)
売上高	359	400
営業利益	17.2	28.0
営業利益率	4.8%	7.0%
ROE	4.0%	10%



2009年11月現在

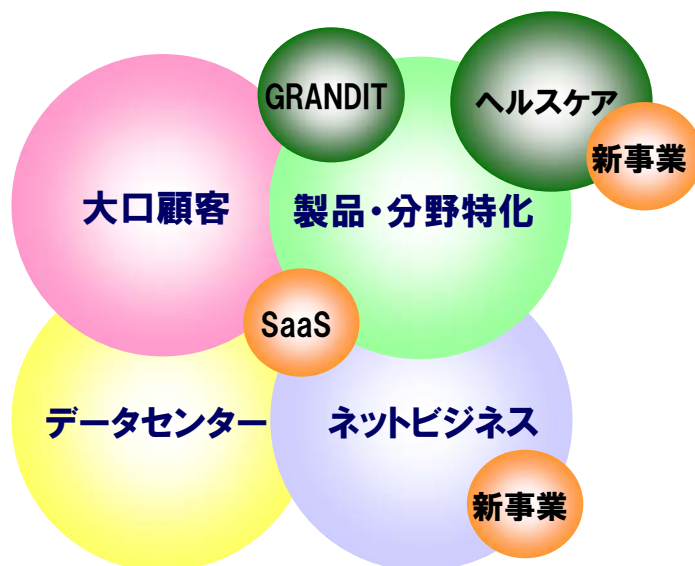
当資料で取扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については、億円単位の数値で算出しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

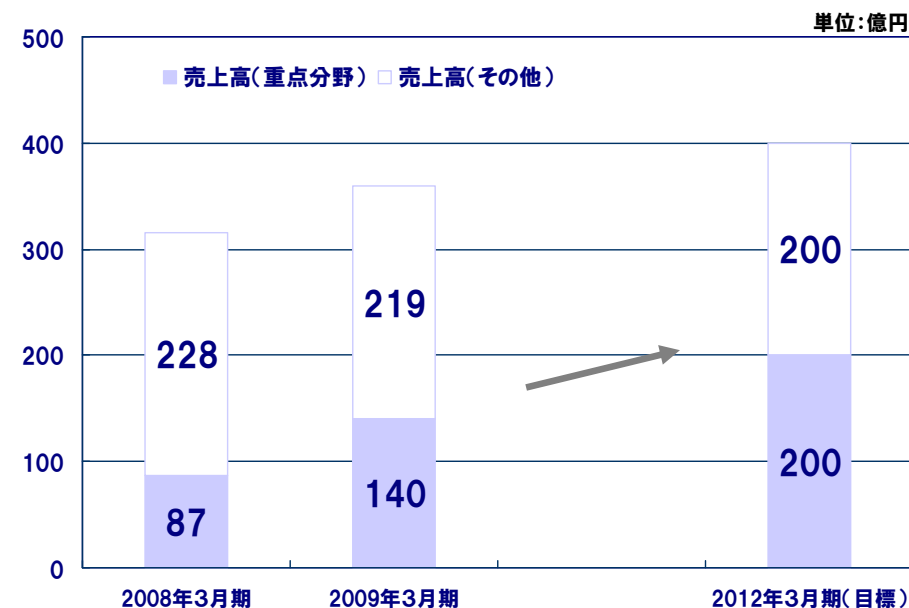
© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

中期経営計画 (6) 中期重点分野

事業の選択と集中を行い、重点分野に経営資源をシフト		
(1) 成長加速	ネットビジネス ヘルスケア	コンテンツ、eコマースの成長加速と新事業の立ち上げ 病院経営支援、診断支援等新分野への積極展開
(2) 基盤強化	GRANDIT	継続的な製品強化により、品質向上と競争力強化を推進
(3) 新ビジネスモデル	データセンター	SaaS型事業立上げ



重点分野を連結売上高の50%に



2009年11月現在

当資料で取扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については、億円単位の数値で算出しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

1. 2010年3月期 第2四半期決算

(1) 連結業績

(2) 株主の状況

(3) グループ会社の状況

2. 2010年3月期 通期連結業績予想

3. 2010年3月期 配当予想

4. 新中期経営計画 重点分野の取り組み

※インフォコムグループ中期経営計画(2009年5月11日公表)

※インフォコムグループ基礎情報

■インフォコムの概要

■企業理念、経営方針 等

■社名の由来、沿革

■セグメント構成

■事業推進体制、所在地

■グループ構成

■当社グループの通期及び四半期業績の特性

■連結財務データ(通期)

■主要経営指標(通期)

■对外発表Index(2009年4月～2009年9月)

2009年11月現在

当資料で取扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については、億円単位の数値で算出しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

インフォコムの概要

■ 会社概要

商号	インフォコム株式会社(INFOCOM CORPORATION)
代表者	代表取締役社長 CEO 吉野 隆
設立	1983年2月
本社所在地	東京都渋谷区神宮前2-34-17
主要拠点	東京都渋谷区、大阪府大阪市、 神奈川県横浜市、福岡県福岡市
決算期	3月末日
資本金	15億90百万円(2009年3月31日現在)
社員数	671名(単体) 1,179名(連結)(2009年3月31日現在)
連結売上高	359億12百万円(2009年3月期)
連結営業利益	17億26百万円(2009年3月期)
グループ会社	国内6社、海外2社(内、持分法適用関連会社国内1社)
上場市場	JASDAQ(2002年3月上場)
銘柄コード	4348
大株主	帝人株式会社 50.1%
発行済株式数	144,000株(2009年3月31日現在)
売買単位	1株

■ 事業内容

- 携帯電話事業者、一般企業、医薬医療関係の機関や官公庁、教育研究機関の顧客向けに情報システムの企画・開発・コンサルテーション等の各種ITソリューションの提供
- 消費者が利用する携帯電話等へのコンテンツやeコマース等の提供、情報通信システムの企画・運用・管理等の各種サービスの提供

■ 役員(2009年6月19日現在)

代表取締役社長 CEO	吉野 隆
取締役 ソリューション事業統轄本部長	小林 晃
取締役 CFO	山本 員裕
取締役 ネットビジネス事業本部長	竹原 教博
取締役	森田 順二
常勤監査役*	木原 茂
常勤監査役	三浦 進
監査役*	佐野 喜八郎

※印の監査役は社外監査役です。

※ 記載されている情報は2009年11月1日現在のものです。

※ 本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

企業理念、経営方針 等

インフォコムグループとしての「企業価値の持続的向上」を表現するには、社会との信頼関係を強化するための企業の社会性・透明性の向上を含めコーポレート・ガバナンスの確立が不可欠であると認識しています。

また、当社グループは、グループとしてのシナジーの最大化とグループ一体経営を実現するために、グループ企業理念、グループ経営ビジョン、グループ経営方針等に基づき経営活動を推進しています。

■ グループ企業理念

インフォコムグループは、ICTの進化を通じて 社会のイノベーションに貢献する。

■ グループ経営ビジョン

(1) 市場、技術の変化を先取りし、自らが常に進化を続けることで、高品質なソリューションと、革新的なサービスを提供し、ビジネスとライフスタイルの 変革に貢献する。

(2) ソリューションとサービスの事業融合を進め、ICTの新たな活用シーンを次々と創出する特長あるITサービス企業グループを目指す。

■ グループスローガン

【グループ企業理念】の実現に向け、インフォコムグループが一体となって邁進していこうとする姿勢を表現しています。

“United Innovation” Infocom Group

■ グループ経営方針

- (1) 利益ある成長を持続して企業価値の向上を目指す。
- (2) コンプライアンスを規範とした経営を行う。
- (3) 市場の変化や技術の進化へのスピーディな対応を行う。
- (4) 働き甲斐のある企業を志向し、社員の能力向上に努める。
- (5) 地球環境にやさしいグリーンITを目指す。

■ グループ社員行動指針

- | | |
|----------|-----------------------------|
| (1) 倫理優先 | 高い倫理感に基づく行動を、何よりも優先する。 |
| (2) 顧客満足 | お客様の立場を常に考えて行動する。 |
| (3) 挑戦果敢 | 変化を恐れず、絶えず新しい価値の創造にチャレンジする。 |
| (4) 品質追求 | ソリューション・サービス両面での品質向上を継続する。 |
| (5) 自己研鑽 | 技術と洞察性に秀でたプロフェッショナルを目指す。 |

※ 記載されている情報は2009年11月1日現在のものです。

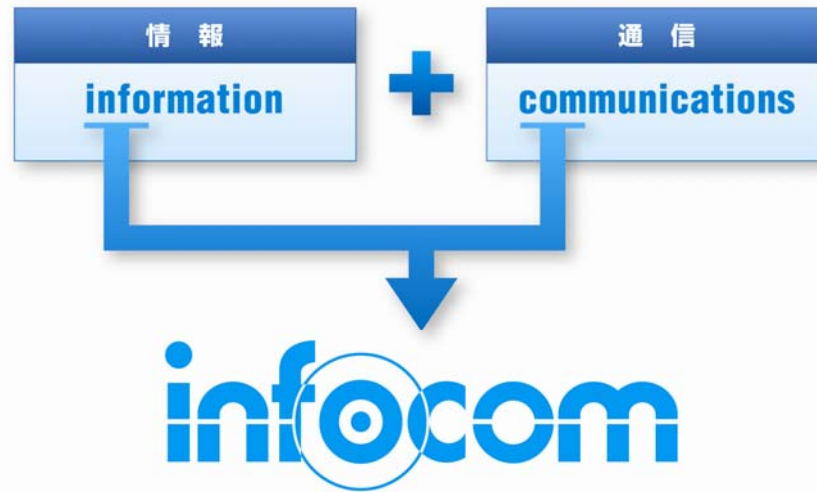
※ 本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

社名の由来、沿革

■ 社名の由来

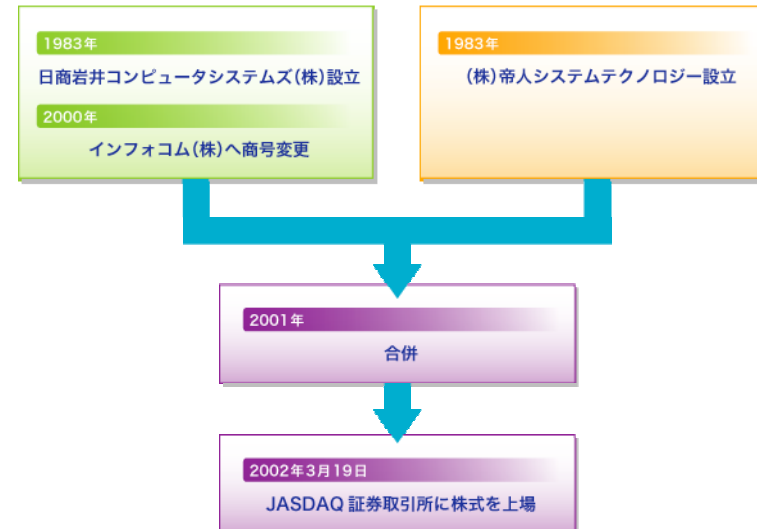
1983年設立の当社は、1987年にinfocomを商号の一部に用いることとしました。情報[information]と通信[communications]が別々の概念として考えられていた当時、新たに総合的なサービスをお客様にご提供したいと考えました。



■ インフォコムの沿革

インフォコムは、1983年の設立以来、日商岩井株式会社（現 双日株式会社）及びそのグループ会社や、携帯電話事業者その他の一般企業等に対して、各種のITソリューションやシステム運用・コンテンツ提供等のサービスを提供してまいりました。

2001年4月に帝人株式会社の100%子会社で、ヘルスケア・ソリューション分野、電子帳票システムやナレッジマネジメント等の自社開発ソフトウェアパッケージ製品等に特長を有するシステムソリューションプロバイダーである株式会社帝人システムテクノロジーと、企業規模・業容の拡大、新規ビジネスによる成長加速、収益基盤の一層の強化等を目的として合併いたしました。そして、合併した同事業年度にJASDAQ証券取引所へ株式を上場いたしました。



※ 記載されている情報は2009年11月1日現在のものです。

※ 本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

セグメント構成

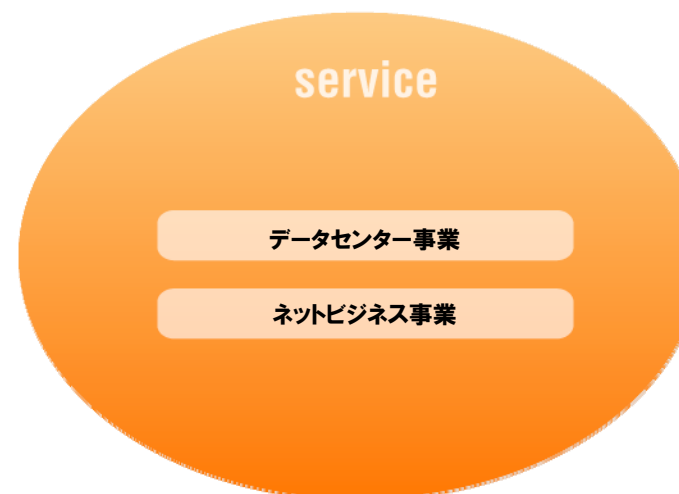
当社の2つのセグメントで展開される多彩なソリューションやサービス。
インフォコムグループは、ICTの進化を通じて、社会のイノベーションに貢献します。



ソリューション・セグメント

大規模顧客のIT機能の一翼を担うとともに、医薬医療機関や文教、知的財産等の分野に特化した自社開発パッケージ製品等を提供しています。

また、様々な法人に適合する完全Web-ERP「GRANDIT®」、情報資産の高度活用に対応するデジタルコンテンツ管理ソリューション等も提供しています。



サービス・セグメント

自社保有のデータセンターを核とした高品質かつ高信頼性を誇るデータセンター・サービス「エクステーション®」の提供のほか、携帯電話やPC利用者向けには、着信メロディや着うたフル®、電子書籍、健康情報、パズルゲームやメール装飾素材等のコンテンツ配信、CD/DVDやアパレル等を販売するeコマースサイトを展開しています。

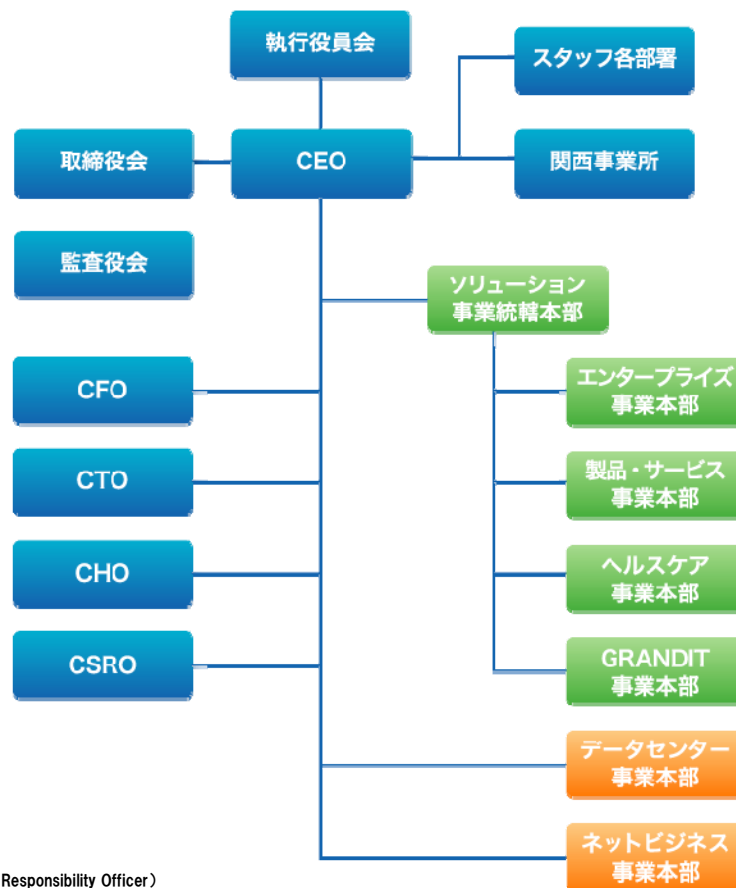
※ 記載されている情報は2009年7月1日現在のものです。

※ 本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

事業推進体制、事業所所在地

事業推進体制



ご参考:
CSRO (Chief Social Responsibility Officer)
インフォコムグループのCSR (Corporate Social Responsibility) 基本方針・目標・戦略の立案、ならびにグループCSRに関する全体統轄及び推進とコンプライアンス・リスクマネジメント、環境、安全、健康、社会貢献活動に関する基本方針や諸施策の立案・推進

事業所所在地

本社
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-34-17 住友不動産原宿ビル
TEL.03-6866-3000

関西事業所
〒541-8587 大阪府大阪市中央区南本町1-6-7 帝人ビル
TEL.06-6268-3300

新横浜事業所
神奈川県横浜市
TEL.045-476-7003

霞ヶ関オフィス
〒100-8585 東京都千代田区霞ヶ関3-2-1 霞が関コモンゲート西館
TEL.03-3506-4415

赤坂オフィス
〒107-0052 東京都港区赤坂2-14-27 国際新赤坂ビル東館
TEL.03-5520-4878

淀屋橋オフィス
〒541-8558 大阪府大阪市中央区今橋2-5-8 トレードピア淀屋橋
TEL.06-6209-3170

西本町オフィス
〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座1-3-15 JEI 西本町ビルディング
TEL.06-6110-8984

岡山ポータルオフィス
〒700-0904 岡山県岡山市北区柳町1-1-1 住友生命岡山ビル
TEL.086-225-2170

福岡オフィス
〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南2-1-9 ヤマエ博多駅南ビル
TEL.092-433-3421

ニューヨーク・オフィス
One Exchange Plaza 55 Broadway, New York, NY 10006
TEL.212-607-4893

※ 記載されている情報は2009年11月1日現在のものです。
※ 本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。
© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

インフォコムグループの構成

インフォコムグループは、当社と国内6社、海外2社の計9社(内、持分法適用関連会社国内1社)で構成しています。グループ企業理念「インフォコムグループは、ICTの進化を通じて社会のイノベーションに貢献する。」、グループ経営ビジョン「市場、技術の変化を先取りし、自らが常に進化を続けることで、高品質なソリューションと、革新的なサービスを提供し、ビジネスとライフスタイルの変革に貢献する。」「ソリューションとサービスの事業融合を進め、ICTの新たな活用シーンを次々と創出する特長あるITサービス企業グループを目指す。」のもと、グループ一体となり、携帯電話事業者、一般企業、医薬医療関係の機関や官公庁、教育研究機関の顧客向けに情報システムの企画・開発・コンサルテーション等の各種ITソリューションを提供するとともに、消費者が利用する携帯電話等へのコンテンツやeコマース等の提供、情報通信システムの企画・運用・管理等の各種サービスを提供する事業を展開しています。

インフォコム(株) <http://www.infocom.co.jp/>

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-34-17 住友不動産原宿ビル
TEL.03-6866-3000 FAX.03-6866-3900

ITソリューションの提供 ITサービスの提供

ソリューション

(株)インフォコム東日本 <http://www.infocom-east.co.jp/>

〒110-0008 東京都台東区池之端1-2-18 MG池之端ビル
TEL. 03-5832-5400 FAX. 03-5832-5401

情報処理サービス ソフトウェアの開発

(株)インフォコム西日本 <http://www.infocom-west.co.jp/>

〒541-8587 大阪府大阪市中央区南本町1-6-7 帝人ビル
TEL.06-6268-3314 FAX.06-6268-3360

ソフトウェアの開発

インフォベック(株) <http://www.infovec.co.jp/>

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-34-17 住友不動産原宿ビル
TEL.03-6866-3910 FAX.03-6866-3920

完全Web-ERPの開発・販売

ログイット(株) <http://www.logit.co.jp/>

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-25-15 south新大塚ビル
TEL. 03-5981-1531 FAX. 03-5981-1537

音声録音システム等の販売・開発

サービス

(株)イー・ビー・エス <http://www.ebsgao.com/>

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-34-17 住友不動産原宿ビル
TEL. 03-6866-4100 FAX. 03-6866-4110

CD/DVDやアパレルを中心としたeコマース

SYSCOM (USA) Inc. <http://www.syscomusa.com/>

One Exchange Plaza 55 Broadway, New York, NY 10006
TEL. 212-797-9131 FAX. 212-797-9132

ネットワークインフラSI

Infocom America Inc

One Exchange Plaza 55 Broadway, New York, NY 10006
TEL. 212-607-4893 FAX. 212-607-4894

市場調査、情報収集

(株)ドゥマン <http://www.demain-corp.jp/>

〒308-0826 茨城県筑西市下岡崎2-9-1
TEL.0296-25-2920 FAX.0296-24-7318

食品関連商材を中心としたeコマース

※ 記載されている情報は2009年11月1日現在のものです。

※ 本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

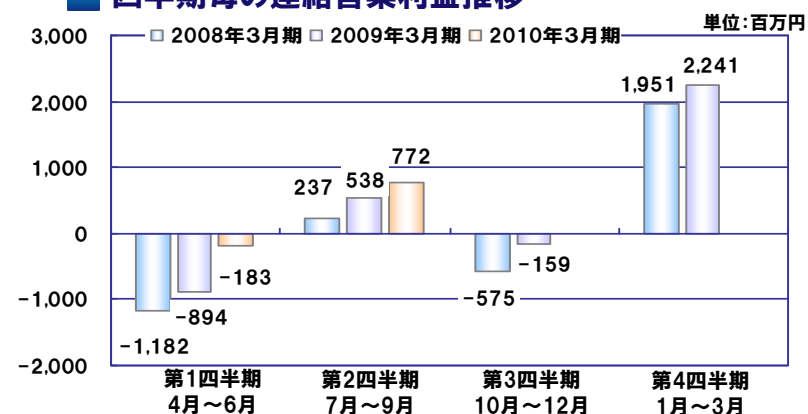
当社グループの通期及び四半期業績の特性

わが国においては、事業会計年度を4月から3月までと定めている企業が多いため、システムの導入・検収が、年度の節目となる3月に集中する傾向にあります。こうした要因により、当社グループの業績は、売上高、利益ともに第1・第3四半期が相対的に少なくなり、第4四半期に集中する傾向を有しています。下表の「連結売上高の四半期推移」及び「連結営業利益の四半期推移」をご参照願います。

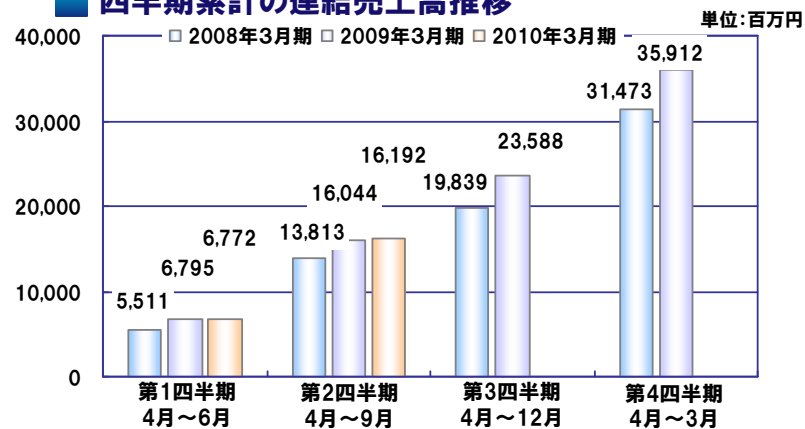
■ 四半期毎の連結売上高推移



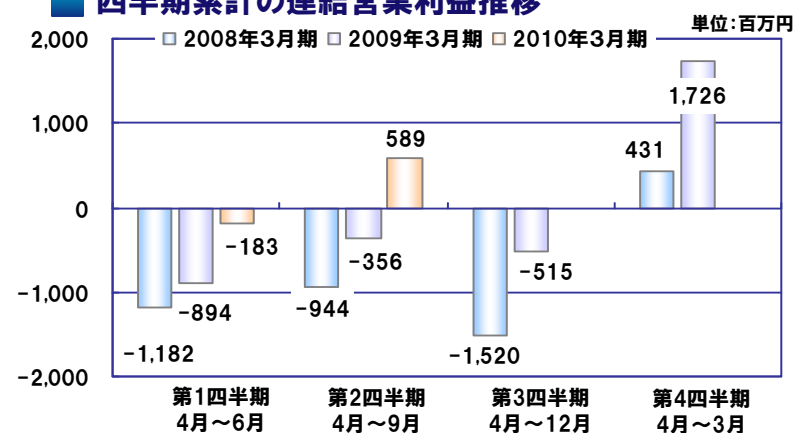
■ 四半期毎の連結営業利益推移



■ 四半期累計の連結売上高推移



■ 四半期累計の連結営業利益推移



※ 記載されている情報は2009年11月1日現在のものです。

※ 本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

連結財務データ(通期)

経営実績 (百万円)	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期
売上高	32,164	31,353	32,637	31,473	35,912
売上高計上基準 変更後*	29,867	31,353	32,637	31,473	35,912
営業利益	2,203	1,470	1,201	431	1,726
経常利益	2,265	1,392	1,222	479	1,766
当期純利益	957	531	1,596	228	494

※ 2006年3月期より音楽コンサートチケット等の販売に関する売上計上基準を、販売方針の転換に伴い、「取扱高」から「販売手数料」に変更しています。

財政状況 (百万円)	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期
総資産	18,644	18,922	20,868	22,017	20,690
純資産	10,656	11,070	12,593	12,523	12,750

※ 2006年3月期までの数値につきましては、従来の株主資本を純資産の欄に記載しています。

キャッシュフロー (百万円)	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期
営業活動による キャッシュフロー	2,591	495	1,679	1,529	2,805
投資活動による キャッシュフロー	△1,147	△3,503	188	△893	△1,829
財務活動による キャッシュフロー	248	△629	△263	△332	△553

一株あたり 情報(円)	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期
当期純利益	6,585.04	3,635.03	11,084.53	1,588.83	3,430.76
配当	1,200	1,200	1,600	1,600	1,600

指標	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期
自己資本 当期純利益率 (ROE)	9.3%	4.9%	13.5%	1.8%	4.0%
自己資本比率	57.2%	58.5%	59.9%	56.2%	61.0%

※ 自己資本は、株主資本と評価・換算差額等を合算しています。

その他	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期
減価償却費 (百万円)	727	969	1,196	1,313	1,459
従業員数(人)	871	1,098	1,111	1,188	1,179

※ 記載されている情報は2009年11月1日現在のものです。

※ 本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

主要経営指標(通期)

	2004年 3月期	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期
売上高成長率(%) ^(※1)	3.9	△3.0	5.0	4.1	△3.6	14.1
営業利益率(%)	9.9	7.4	4.7	3.7	1.4	4.8
一人当たり売上高(百万円)	40	36	28	29	26	30
一人当たり営業利益(百万円)	3	2	1	1	0.3	1
株主資本当期純利益率(ROE)(%)	17.9	9.3	4.9	13.5	1.8	4.0
総資本当期純利益率(ROA)(%)	9.7	5.2	2.8	8.0	1.1	2.3
総資本営業利益率(ROA)(%)	17.7	12.0	7.8	6.0	2.0	8.1
1株あたり当期純利益(円) (04/3期72,000株、以降144,000株)	22,450 ^(※2)	6,585	3,635	11,084	1,588	3,430
1株当たり年間配当金(円)	2,200 ^(※2)	1,200	1,200	1,600	1,600	1,600
配当性向(%)	9.8	18.2	33.0	14.4	100.7	46.6

※1 2006年3月期より音楽コンサートチケット等の販売に関わる売上計上基準を、販売方針の転換に伴い、「取扱高」から「販売手数料」に変更しています。当資料では、2006年3月期以降の売上計上基準を使用し、各種数値を算出しています。

※2 2005年3月期に株式分割を行いました。に伴い2004年3月期の1株あたり金額は株式分割前の株数に基づくものです。

2009年11月現在

当資料で取扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については、億円単位の数値で算出しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

対外発表index 2010年3月期 第2四半期まで

ソリューション・セグメント(計12件)

4月	GRANDITビジネスパートナーに株式会社ジェーエムエーシステムズが加盟 ～完全Web-ERP「GRANDIT®」の販売・導入体制を強化～
4月	医療機関の放射線部門業務を更に効率化する新「放射線情報システム」「読影レポートシステム」を開発
4月	インフォベック社が運営し、完全Web-ERP「GRANDIT®」の開発・販売を推進する「GRANDITコンソーシアム」に(株)グローバル・パートナーズ・コンサルティングが加盟 ～国際財務報告基準を始め、激変する会計制度に対応～
5月	インフォベックがコンソーシアム方式で展開する完全Web-ERP「GRANDIT®」の人事・給与モジュールが進化
6月	インフォベックがコンソーシアム方式で展開する完全Web-ERP「GRANDIT®」の導入実践例を課題別に体系化し公開
7月	デジタルアーカイブ化構想を進める小布施町の新町立図書館「まちとしょテラソ」で完全Web対応版図書館業務システム「Hello Library」が稼働
7月	創薬研究向けワーク・フローツール“Marvin Family Nodes”の無償配布を開始
7月	「整形外科向け医用画像管理システム」を開発 ～フィルムレス化によるコスト削減や医療の精度向上、院内での情報共有化を強力にサポート～
7月	インフォベックがコンソーシアム方式で展開する完全Web-ERP「GRANDIT®」の最新バージョンの販売を開始 ～最新テクノロジーの採用により、セキュリティの強化やITコストの削減～
8月	完全Web対応の図書館業務システム「Hello Library」、さいたま文学館で稼働開始
9月	ログイットが、かんたん/安価にメールアーカイブを実現する「ウチノBossメールNEO」を販売開始
9月	ログイットが、日本アバイアと販売代理店契約を締結 ～通話録音システムとコンタクトセンター・ソリューションを組み合わせ、幅広い業界に拡販～

2009年11月現在

当資料で取扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については、億円単位の数値で算出しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

対外発表index 2010年3月期 第2四半期まで

サービス・セグメント(計7件)

4月	ドゥマンが展開する「オーガニックサイバーストア」を携帯電話向けに提供開始 ～「モバイルだからできるサービス」を展開～
6月	ドゥマンが運営する「オーガニックサイバーストア」で製菓材料の販売を開始 ～「お菓子づくり」カテゴリを新設、取扱商品を充実し顧客満足度向上を促進～
7月	イー・ビー・エスが、女性誌「ViVi」の公式ファッション通販サイトで、「ViVi」本誌との連動企画を開始
8月	ドゥマンが展開する「オーガニックサイバーストア」が、Yahoo!ショッピング「2009年上半期ベストストア 食品部門賞第2位、花・ガーデニング部門賞第3位」を受賞
9月	仮想化基盤を強化しSaaS型ビジネスを積極的に推進 ～データセンター・サービス事業で仮想化ホスティングサービスの提供を開始～
9月	携帯電話向け懸賞パズルゲーム「めちゃキューブ™」スタート ～クリア毎にポイントゲット！ポイントを貯めて懸賞に応募！！～
9月	携帯電話向け装飾メール素材配信サービス「めちゃデコ™」スタート

コーポレート(計2件) 人事異動、決算短信関係除く

5月	大和インベスター・リレーションズ株式会社による、IRに対する高い取り組み姿勢と努力の成果を評価する「2009インターネットIR優秀企業賞」を受賞
5月	インフォコムグループ 中期経営計画について

2009年11月現在

当資料で取扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については、億円単位の数値で算出しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.

United Innovation infocomgroup

**インフォコムグループは、
ICTの進化を通じて
社会のイノベーションに貢献します。**

2009年11月現在

当資料で取扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については、億円単位の数値で算出しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

© 2009 INFOCOM CORPORATION. All rights reserved.